

島根県益田市高津地区

地域づくりのテーマ: 高津っ子の住みよいまちづくり



①地区の概要

【地区の現況】（令和5年1月末時点）

人口7,897人、高齢化率37.7%、世帯数3,827世帯
山・川・海に囲まれた自然豊かな地区です。

【地区の魅力】

自然豊かでありながらも、生活に必要な施設・設備も整っており、とても暮らしやすい地区です。又、活動団体も多く地区の行事も活発です。

小学校1、中学校1、高校1、高等技術校1、保育園4、があり教育機関も充実したまちです。

【地区の課題】

少子高齢化、人口減少、諸団体等の後継者不足、人間関係の希薄化等、様々な分野で問題・課題を抱えています。

②実施団体の概要

【団体の名称】

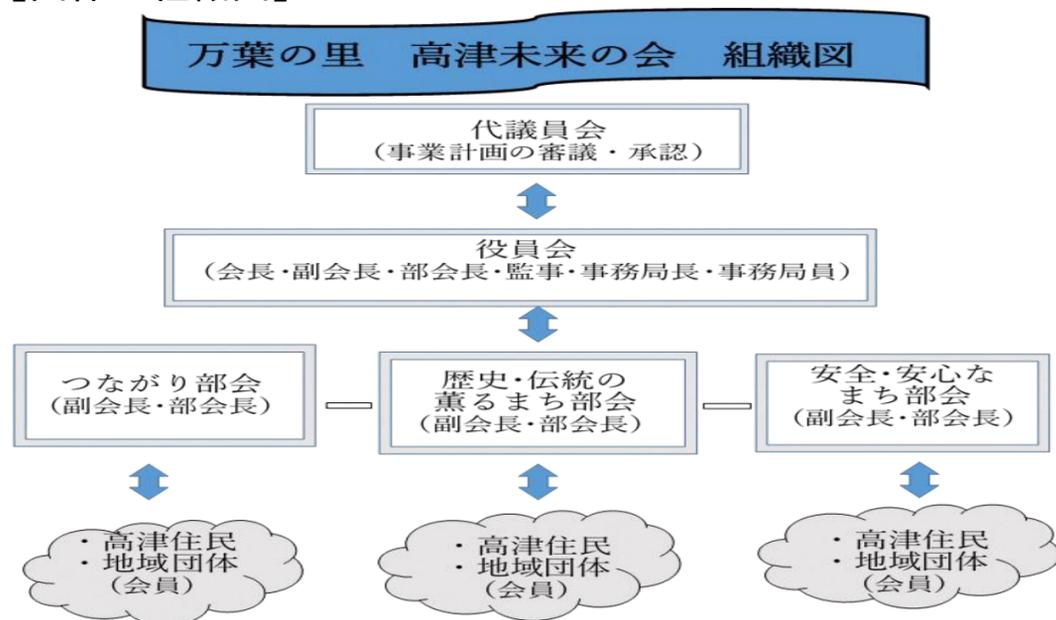
「万葉の里 高津未来の会」

【構成団体、構成員】

- ・高津地区住民
- ・各種団体
- ・各種団体から代議員20名
- ・公募より代議員4名
- ・役員(会長1名、副会長3名、部会長3名、監事2名)

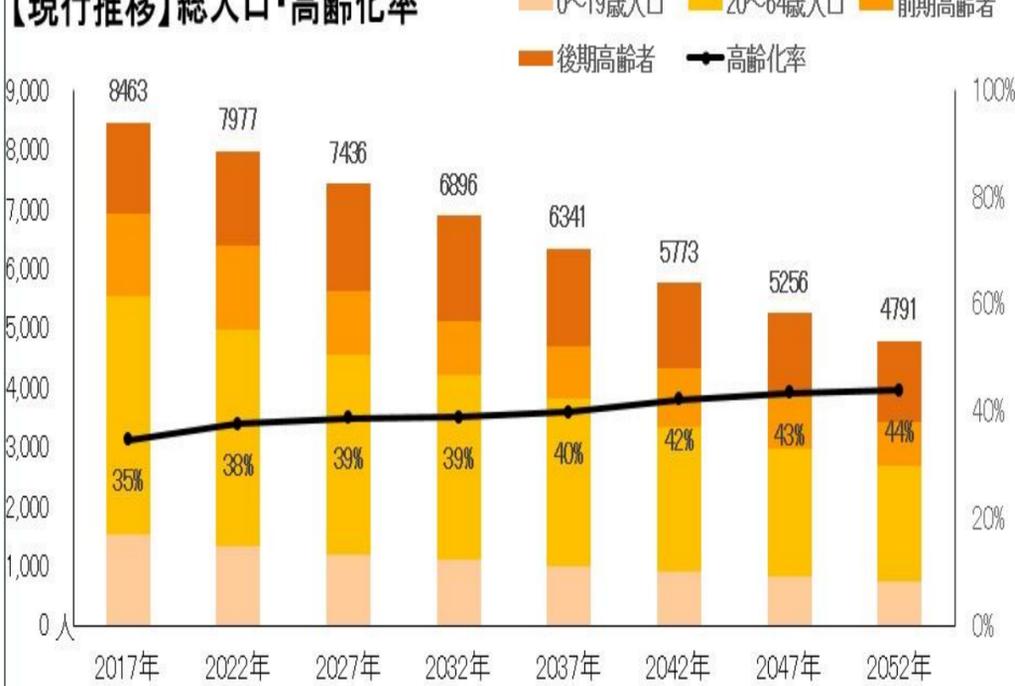


【団体の組織図】



③地区の人口シミュレーション

【現行推移】総人口・高齢化率



資料: 島根県中山間地域研究センター「2022人口推計シート」

④地域の魅力化に向けた取組

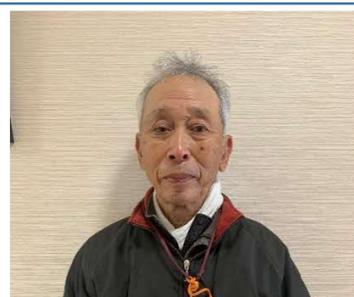
☆会報を発行し地区内に回覧。その他にも、会議・行事等の様子もその都度インスタグラム・フェイスブック・告知端末放送を活用し、より幅広い世代へと情報発信に努めている。

☆公民館活動と並行して、講座や事業に取り組んだ。

☆小・中・高生が和太鼓で地域に元気を与えた。

☆地域に埋もれた歴史的文化遺産等の発掘・見える化。

☆益田市と島根県立大学との共同研究によって地域の歴史・伝統文化(ひと・もの・こと)をデジタル化し、記録保存しSNSで公開。



【会長よりメッセージ】

発足2年目、今年度もコロナ禍も相まって思うにまかせない状況下ではあったが、出来ることから活動をし進めてきました。併せて地域等への情報発信等も行う中で、少しずつではあるが活動等認知されてきたように感じます。

島根県益田市高津地区

⑤こんなことが話し合われています



○役員会を8回行いました。(2月末現在)
○各部会会議は、各部会ごとに必要に応じ開催。役員会で、情報共有を行ない事業を実施した。



○高津小学校6年生の授業で林会長が万葉の里高津未来の会の活動や、思いを話した。
(6年国語科「町の幸福論」学習)



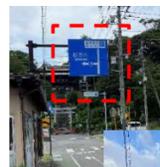
○柿本人麿にまつわるバスツアーの中で昨年度、まちづくり活動特別補助金を活用し、石臼の改修工事と案内板設置をおこなった高津蠟座石臼の設置場所を見学し、現地説明が行われた。



○歴史伝統文化の薫るまち部会 × 県大
県立大学との共同研究によってホーランエー等をデジタル化。成果物をSNSで公開。小学校の授業にも取り入れられ、実際に活用された。

⑥こんな地域づくりを行なっています

JR線長者原踏切周辺の 除草作業をJRに要望



高津柿本神社前の 案内標識撤去について要望

柿本神社や門前町の景観の妨げとなっている道路標識の看板撤去の要望を行い、その後撤去された。

まちづくり活動特別補助金審査会



柿本人麿の終焉伝承を継承する事業

小学校裏の 通学路の 危険箇所 に看板設置



ふるさと教育デジタルアーカイブ事業 × 県大



(ホーランエー撮影)



(高津餅つき音頭撮影)



(SNSにて公開中)

登下校の見守り



毎日の見守りの様子
(歩道が設置された松ヶ丘浜寄線)



和太鼓事業 (高津公民館共催)

・金刀比羅神社(浜地区)
・萩石見空港マラソンのスタート前にて披露
小・中・高の若者パワーで地域を元気に!



万葉の里ひとまるフェスタにおける 「ひとまるつながりマルシェ」を実施



お問い合わせ先

名称: 万葉の里 高津未来の会
住所: 〒698-0041
島根県益田市高津2-5-2(高津公民館内)
電話: 0856-23-1791



☆高津公民館と共に情報発信しています。

